

# 第二次安倍政権の経済成長は 消費増税で停滞した

しがく総合研究所

ア) 第二次安倍政権下の経済政策は消費増税で腰折れた

2020年9月、第二次安倍政権は約7年8か月の歴史に幕を閉じた。同政権では「アベノミクス」という経済政策に力を注ぎ、日本経済の成長を掲げたが、経済成長率は停滞した。

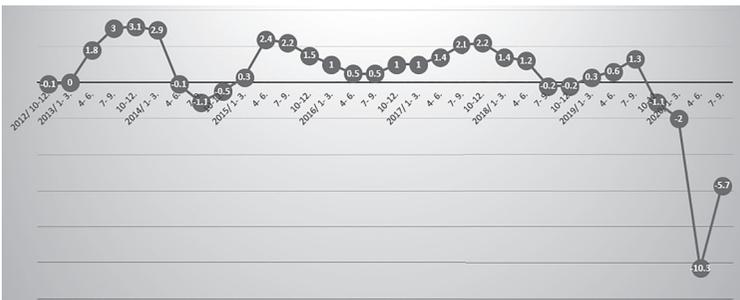
その理由は2度にわたる消費税率の引き上げの影響が大きい。消費税率は14年4月に

5%から8%となり、その後2度の延期を経て19年10月に8%から10%に引き上げられた。

第二次安倍政権下で計6回編成された経済対策をみても、その性格の変化から経済成長が腰折れていたことは明らかだ。例えば、13年1月の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」では後述する「三本の矢」実現のための政策をとりまとめた。しかし、その後の13年12月と14年12月の経済対策、さらに二

【図1】

実質GDPの前年同期比成長率 (%)



度目の消費増税後にあたる19年12月、20年4月の政策は、どれも増税や新型コロナウイルス感染症による経済成長の減速を軽減するためのものだ。いわば「下支え」の意味合いが強く

なっている。

政府の統計でも経済成長の減速は何えろ。実質国内総生産(GDP)<sup>1</sup>は【図1】のように8%の増税前まで前年比3%近くで推移していたが、増税直後はマイナス成長に。以後政権末期まで実質GDP成長率が前年比で3%台に戻ることはなかった。国内総生産のうち、個人消費の割合は金額ベースで約55%と項目別で最大だ。個人消費の足を引っ張る消費増税は、日本経済の成長速度を鈍化させた。

景況感も悪化した。内閣府の景気ウォッチャー調査(季節調整済み)<sup>2</sup>は3カ月前と比べて足元の景況感を示す現状判断指数と、2〜3カ月後の景気の良し悪しを判断する先行き判断指数で構成される。事業者への聞き取りを通じてスコア化し、50を超えたら好況、

下回れば不況とするものだ。

現状判断指数は政権発足直後の2013年1月に51・1と早速50を超え、11月には56・4となった。14年3月まで50超で推移したが、増税後の14年4月に38・6に落ち込んだ。先行き判断指数も12年12月に早くも50超に転換し、13年11月に57・5となった。ただ、14年1月以降は増税をにらみ、48・3↓38・1↓33・5と停滞。その後、政権末期まで現状・先行きの景況感いずれも政権発足直後と同水準に至ることはなかった。

### イ) アベノミクスとは何だったのか

第二次安倍政権の経済政策は「アベノミクス」と呼ばれ、その目玉は「三本の矢」<sup>3</sup>で

市中に資金を回らせる政策意図があった。デフレの続く日本経済の状況からすれば、政策の方向性は間違っていない。事実、日経平均株価は政権発足直後1万円程度だったが、政権末期には2倍以上にまで伸びた。ただ個人の景況感がよくならない中で日銀などを主導に株価を引き上げた「官製相場だ」との指摘もあり、その点には留意が必要だ。

### ウ) いち早く成長軌道に戻すことが求められている現在

そして二度目の消費増税後、20年春に新型コロナウイルス感染症が経済を襲った。日本では緊急事態宣言発出を受けて消費などが急激に悪化し、20年4〜6月期の名目GDP（季節調整済み、年換算）は約510・9

ある。安倍前首相が13年2月28日の施政方針演説で「大胆な金融政策であり、機動的な財政政策。そして、民間投資を喚起する成長戦略」<sup>4</sup>と説明。要は「日本銀行（日銀）による市場への十分な資金供給」「政府の経済対策による需要創出」「規制緩和による民間投資促進」の3つだ<sup>5</sup>。

例えば日銀は、政権発足後から大規模な金融緩和策を導入した。13年4月の金融政策決定会合では「量的・質的金融緩和」の導入を決定した。これは世の中に出回る資金量を増やし（量的緩和）、国債やETF（上場投資信託）の買入れ額を増やす（質的緩和）ことだ。さらに16年1月には「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定した。民間金融機関が保有する日銀の当座預金の一部に0・1%のマイナス金利を適用し、

兆円と、前年同期の約562・4兆円から50兆円程度落ち込んだ。政府は経済対策などで経済を下支えしたが、その渦中で安倍首相は8月に辞任を表明した。今もなお新型コロナウイルス感染症は流行の渦中にあり、コロナ前の経済水準はまだ遠い。感染抑止はもちろん、一刻も早い成長軌道への回帰が求められる。

1 E-Stat「国民経済計算」

2 内閣府「統計表一覧：景気ウォッチャー調査」

3 具体的には2013年6月14日に閣議決定された成長戦略「日本再興戦略」JAPAN IS BACK」に記述がある

4 首相官邸「第百八十三回国会における安倍内閣総理大臣施政方針演説」

5 首相官邸「アベノミクス『3本の矢』」